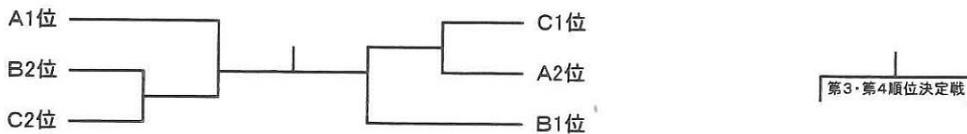


◆バドミントン〈女子4〉

女子A	フラワーWing	南城	石鳥谷	順位
フラワーWing				
南城				
石鳥谷				

女子B	花巻	花巻シヤトルクラブ	湯口JBC	順位
花巻				
花巻シヤトルクラブ				
湯口JBC				

女子C	大迫	花巻北	西南	順位
大迫				
花巻北				
西南				



バドミントンも中総体より出場は1チーム減りましたが、県大会出場枠は変化なしです。ソフトテニス男子は、個人戦のみの出場となります。

会場は、「バスケット：総合体育館」「野球：大迫球場」「バレー女子：石鳥谷中学校」「卓球：市民体育館」「バドミントン：総合体育館（アネックス）」「ソフトテニス：大迫テニスコート」です。

なお、それぞれの試合時間や個人戦の組合せ等は、各部ごとに顧問から連絡いたします。

想いを言葉に… ～「わたしの主張」花巻大会に2名出場。担当校の役割も～

9月9日（火）に「なはんプラザ」を会場として標記大会が開催されました。今年には本校が輪番制で担当校となっており、例年より1人多い2人の出場枠が与えられました。

1番目に発表した清水優笑さん（3年）は、「環境に左右されずに」と題して、学校生活での気づきをもとに自分の考えを述べました。普段はあまり意見を話さない自分が、班の話し合いの中で思い切って発言したら、みんなが認めてくれたこと。それをきっかけに、世の中でもまわりが話しやすい雰囲気だったり、そうでなかったりするかもしれないが、環境に左右されずに自分の気持ちを伝えることが大切だと訴えました。

10番目に発表した高橋朔夜さん（3年）は、「戦争を伝えていく」と題して、修学旅行で訪ねた「東京大空襲・防災資料センター」で聞いた被災者の話をもとに自分の考えを述べました。戦争の悲惨さを知ったこと。それをきっかけに、戦争を起こさないために自分たちができることは、語り継ぐことではないかと訴えました。

担当校なので、全校生徒が発表を聞くことができ、想いを共有できたと感じました。市内11校の発表からは、学んだこと、考えさせられたこと、新たに気付いたことなど、多くの収穫もありました。

また、運営面を本校生徒会執行部が担い、全体の進行を大保航希さんが務め、会を淀みなく進めてくれました。歓迎の言葉は澤田陸玖さん、開会の言葉は永畠六花さん、閉会の言葉は新湊穂岳さん、感想発表は石ヶ森瑛亮さん（いずれも3年）が立派に務めてくれました。

発表者の2人は、西南地区文化祭でも発表する予定です。



「心とからだの健康観察」を実施しました！

9月5日（金）に、スクールカウンセラーの塚野先生を講師として、ストレスの原因や対処法などを学習しました。続いて、小学校から毎年行っている健康観察のアンケートに回答しました。

東日本大震災を機に始まった全県での取り組みは、生徒の悩みや心配事を知り、早期対応に役立っています。個別の相談に応じますので、担任の先生に話すきっかけとしてほしいと思います。

